

いももろ

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.65

10月1日より「あかいはね」共同募金
運動20周年御協力をおねがいします

共同募金運動の20周年を期して、各共同募金では「あかいはねこどもの遊び場」を全国共通の特別配分として贈ることになり、昨年度は、その第1年目として発促いたしました。ことしは第2年目としてその運動につづけております。ことしも10月1日より共同募金に全力をつくすことになりませんが、歳末たすけあい運動とあわせて何分の御協力をおねがい申し上げます。

水害にもめげず
さあが
がんばろう



若い情熱

夜空に軽快なリズムが流れる、キャンプファイヤーを囲み、若人は恥じらいもなく、パートナーを選び元気に踊りメロディーを口づさみ、情熱を発散させるこの若い力が、あすの岩室村を築くのだ。 8月14日和小グランド

多賀氏は畜産経営拡大資金の拡大を要望したのに対し、充分検討の上努力したと答弁、大原氏の農業後継者教育及び魅力ある農村づくりの問題に県はもっと力を入れてほしい旨要請、これに対し松平農林所長は県も、農村後継者、住みよ農家から改善することが望ましいとユーモアを交えて答弁した。

松平農林部長は、百万トン増産運動の重点をことしは集団栽培リーダーの育成に集約栽培肥料の育成に集約栽培肥料を中心とした土、水、施肥を中心とした栽培においていると説明し優良品種については、六、七年のうちに県に最も適した優良品種を作り出すよう努力している、又本県は全国でも有数の品種改良県であり、現在の品種に比べても充分特性を発揮できる熱心に耳を傾け、熱気あふれた会場風景であった。

意見発表者は八名
西川町 多賀 栄吉氏
味方村 遠藤熊太郎氏
巻町 高杉 秀樹氏
湯東村 大原 明子氏
黒埼村 鷺尾 貞一氏
巻町 今里 耕作氏
岩室村 小林 甲一氏
湯東村 竹内多計志氏
が各十分間の発表を行い、それぞれ各部課長が答弁に立った。

岩室村からの発表者、小林氏は、土地改良事業を実施するに当たっての三分の二以上の同意の件について、今後ますます農家の階層分離がはげしくなるが県はあくまで百分近い同意がなければ認可しないのかと、ただしたのに対し、重見農地部長は一枚毎の農地に関連する場合は極力同意を進めると答弁、計画によっては、参加を削除することもできるものもあるが、土地改良事業は極力推進したいと答弁した。

八月二十八日午後一時から湯東村農業会館で、農林・農地部一日公聴のつどいが開かれた。県側から君副知事、松平農林部長、重見農地部長は各各関係課長及農地事務所長等約三十名が出席、橋本小林甲一さんが橋本地区の農

整備される様を望んだのには、重見農地部長は、外種についても適否を農業分水による中・口川の水位試験場で充分検討し発表を確保については沿線に当る様にしたい、また農業改良普及所の統廃合については計画中止の考えはないこと中下流の三点について対策を検討したい、又河床低下の件については、昭和四十三年度以降、中間調査資料が提出されるのでそれにより種々対策を検討する。

はおとらないと思うが、県外種についても適否を農業分水による中・口川の水位試験場で充分検討し発表を確保したい、また農業改良普及所の統廃合については計画中止の考えはないこと中下流の三点について対策を検討したい、又河床低下の件については、昭和四十三年度以降、中間調査資料が提出されるのでそれにより種々対策を検討する。

県政 前進する農村めざし討論

橋本 小林さん土地改良法について質問
鷹尾氏は、西蒲原の用水不足解消のために用排水路の抜本的なものを積極的に

県政
みなさんの声を県政に
前進する農村めざし討論

橋本 小林さん土地改良法について質問

業会館で、農林・農地部一日公聴のつどいが開かれた。県側から君副知事、松平農林部長、重見農地部長は各各関係課長及農地事務所長等約三十名が出席、橋本小林甲一さんが橋本地区の農